

平成 31 年度 教職大学院 A 日程入学試験

【教育に関する小論文】

◆ 以下に示す A、B の二つの課題に答えなさい。

別紙、解答用紙の表面に【課題 A】、裏面に【課題 B】を論述すること。

【課題 A】

平成 29 年 3 月に公示された小・中学校学習指導要領では、「各学校におけるカリキュラム・マネジメントの確立」が重要視されている。その中で、「教科等横断的な学習を充実する必要」も示唆された。

〈国語・社会・算数（数学）・理科・生活・英語・音楽・図工（美術）・技術・家庭・体育・道徳・外国語活動・総合的な学習の時間・特別活動〉のうちから 2 つ以上の教科または領域を選び、どのような「教科等横断的な学習」が考えられるか、述べなさい。

【課題 B】

粗暴な言動が目立つ小学 4 年生の A 君。担任教諭がこの件について保護者に連絡をしたところ、A 君の母親から「学校で起こったことは、学校で指導してください。いちいち親に連絡してこないでほしい。」と言われてしまいました。このようなケースの場合、もし、あなたが A 君の学級担任ならば、どのように対応しますか。

平成 31 年度 教職大学院 B 日程入学試験

【教育に関する小論文】

◆ 以下に示す A、B の二つの課題に答えなさい。

別紙、解答用紙の表面に【課題 A】、裏面に【課題 B】を論述すること。

【課題 A】

東京都教育委員会（2017 年）は、「いじめ総合対策【第 2 次】（上巻）「学校の実践編」を公表し、いじめ防止等の対策を推進するためのポイントとして、次の 6 つを示している。

1. 軽微ないじめも見逃さない。
2. 教員一人で抱え込まず、学校一丸となって取り組む。
3. 相談しやすい環境の中で、いじめから子供を守り通す。
4. 子供たち自身が、いじめについて考え行動できるようにする。
5. 保護者の理解と協力を得て、いじめの解決を図る。
6. 社会全体の力を結集し、いじめに対峙（たいじ）する。

以上の 6 つのポイントの中から 2 つを選び、教員を目指す者としてそれらはどう捉え、どのように取り組んでいくか、できるだけ具体的に説明しなさい。

【課題 B】

新学習指導要領では、主体的・対話的で深い学びでの視点で授業改善をすることが求められている。その一方での一つとして協働的な学習が注目されており、ペア学習

やグループ学習が積極的に取り入れられるようになりつつある。

ペア学習やグループ学習を取り入れることについて、①取り入れることの意義、②具体的に 1 時間の授業の中にどのような形で取り入れるか（教科等の例を挙げながら述べてもよい）、③取り入れる上での留意点、に分けて記述しなさい。